

＜第3回 若林地域会議 会議録＞

日 時 令和7年6月27日（金） 19:00～20:30
場 所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 14名
事 務 局 吉澤支所長、中野副支所長、松原副主幹、倉地主査
オブザーバー 太田市議、村中館長

1 会長あいさつ〈省略〉

2 報告事項

（1）第2回若林地域会議会議録について

高岡支所より報告

- ・防災バスツアーの定員が25名に対し、31名の応募があったため、減災館と調整し、31名で行くこと。
- ・まちづくりビジョンの評価を実施し、その結果を【資料1-2】にまとめたこと。

（2）高美町自治区防災訓練の実施について

高岡支所より報告

- ・令和7年5月25日（日）に実施したこと。
- ・前半：安否確認訓練、後半：参加型の体験ブースを実施したこと。
- ・支所は防災グッズの展示、簡易トイレの利用方法について説明したこと。

〈委 員〉例年11月に実施していたが、対象となる評議員、組長の任期の関係で今年度は5月に実施した。内容としては、10時に地震が発生した前提で防災ラジオを流し、安否確認訓練を行った。確認の方法は無事を知らせる印として玄関ドアに白い布をかけることとしており、かかっているなければインターホンを押すというもの。476世帯のうち、79%の375世帯が白い布をかけていた。残りの世帯については忘れていたのが64世帯、不在だったのが37世帯となった。後半の体験ブースについては、簡易トイレの組み立て方と使用方法の説明、段ボールベッドの展示、防災食の試食、防災クイズを実施した。アンケートでは「トイレを買います」や、「子どもも参加しやすい内容で良かった」という声があった。

（3）若林自治区（若林西小学校）防災訓練の実施について

高岡支所より報告

- ・令和7年6月22日（日）に実施したこと。
- ・前半：安否確認訓練、後半：参加型の体験ブースを実施したこと。
- ・支所は防災食の配布、簡易トイレの利用方法について説明したこと。

○次回の若林防災訓練 9月7日（日） ※若林東小学校

〈委 員〉前半は安否確認訓練ではなく、情報伝達訓練、その後体験型訓練を実施した。情報伝達訓練では8時15分に地震が発生した前提で避難所となっている若林西小学校まで歩いてきてもらった。そして受付で被害状況の報告、集計班による集計、防災隊長への伝達、防災本部への伝達という流れで実施した。体験ブースでは、マンホー

ルトイレ、簡易ベッドの展示、水消火器による初期消火訓練等を実施した。その後、防災対策課に依頼し、マイタイムラインの講義を参加者に受けてもらった。

(4) 高岡工場「ワクフェス」出展実施報告

高岡支所より報告

6月8日(日) 高岡工場の「ワクフェス」にラリーと交通安全啓発に関するブースを出展、自転車安全5則及びとまってくれてありがとう運動のチラシと「とまってくれてありがとう」グッズを配布(配布数660個)し、交通安全啓発を行った。

・今後のイベント開催予定日

○マイタウンおいでん高岡 6月28日(土)

○秋のコミュセン祭り 9月20日(土)

○トヨタ自動車堤工場祭 10月 5日(日)

・防犯対策

○笑劇派による「特殊詐欺防止」講座 11月21日(金) 午前中

若林交流館 多目的ホール 70名程度参加予定

(5) 若林防災フェスタの確定事項について

高岡支所より説明

日程を令和8年1月25日(日)とし、場所を高岡中学校としたこと。防サイ君は予約ができたが、降雨車は移動ができない関係で呼べなくなったこと。

3 協議事項

(1) 若林まちづくりビジョンの改訂

・まちづくりビジョン改訂ステップの説明

高岡支所より説明<資料2-1 参照>

・個人ワークの進め方

高岡支所より説明

・ワークシートの項目ごとに色が付けられている箇所がある。全体を見たときに平均を下回っている項目に色付けしているため、どんな取り組みをすれば評価があるかを記入してほしい。

・方向性(47項目)について、達成率という観点で1~3点(3点が高、2点が中1点が低)で評価してもらう。具体的な取組を参考に点数をつける。

～個人ワーク結果は別紙参照～

★次回開催

第4回定例会：令和7年7月25日(金) 午後7時から 場所：若林交流館多目的ホール

【個人ワーク結果】

若林地域の将来像を実現するための方向性・取組

3つの大きなポイントのもとで、それぞれ課題と方向性、取組例を示しました。なお、取組例はあくまで例であり、方向性を踏まえ若林地域に必要な取り組みを考え実践していきましょう。

【ポイント1】安心して暮らせるまち！

【安心・安全なまちづくり】

地域住民が連携し、防災や防犯などの意識を高め、安全で安心して暮らせる地域を目指しましょう！

（1）防犯の充実

（課 題）犯罪に対して不安を感じている住民が多い。

（方向性）子どもや高齢者、女性など、誰もが安心できる環境づくり

（取組）

①地域内の危険箇所を確認し犯罪が発生しない環境にしよう！	（具体的な取組） ・ 防犯マップの作成・危険箇所の把握 ・ 防犯灯・防犯カメラ等の設置による危険箇所の除去 など ・ 防犯看板の設置（小中高生に募集） ・ 防犯灯の見直し及び設置数増
②防犯に対する知識を身につけよう！	（具体的な取組） ・ 防犯講習会・勉強会の開催（こども向け、高齢者向け） ・ 地域での犯罪情報の共有化 など ・ 親子参加型の講習会 ・ 防犯チラシの配布 ・ 防犯対策事例集の配布 ・ 社会の動向に合わせた取組
③地域全体で子どもの見守りを行おう！	（具体的な取組） ・ ウォーキングや犬の散歩時の見守り ・ 遊び場や学習の場としての自治区施設の開放 など ・ あいさつ・声掛け運動の実施

(2) 防災の充実

(課 題) 南海トラフ地震など、大規模地震など将来への不安がある。

(方向性) 大規模地震や大雨による水害などによる被害を最小限に抑える取組

(取組)

① 防災に対する知識を身につけよう！	(具体的な取組) ・ 住民の防災意識向上に向けた効果的な啓発活動 ・ 防災イベント・防災講習会等の開催 など ・ 自助の重要性、災害時の問題等の公開 ・ 各家庭でのリスクアセスメント
② 若林地域の防災体制・仕組みをつくろう！	(具体的な取組) ・ 地域の防災リーダーの育成 ・ 自主防災会の充実（知識や資格を持つ人材の登用など） ・ 各自治区の災害時の連携体制の構築 など ・ みんなが参加したくなる防災訓練の実施 ・ 地域の防災訓練に多世代で参画してもらう（こども、先生）
③ 実際の災害を想定した防災訓練を実施しよう！	(具体的な取組) ・ 避難所運営ゲーム（HUG）の実施 ・ 実際の避難所での運営体験の実施 など

(3) 交通安全の充実

(課 題) 交通事故に対する不安がある。

(方向性) 歩行者も運転者も安心できる環境づくり

(取組)

① 交通安全・交通マナーに対する知識を身につけよう！	(具体的な取組) ・ 交通安全啓発看板や横断幕等の設置 ・ 交通安全講習会等の開催 など ・ 自転車を利用する学生、一般成人へ法律を含むマナーの講習、小テストの実施 ・ 道交法改正情報の展開（R8 自転車関連等） ・ 自転車の交通ルール講習（大人、子ども） ・ 歩行者、自転車に対する重点教育 ・ 年代別、対象車両別に絞り込んだリスク事例集
----------------------------	---

	・イベント実施時に交通安全の呼びかけ ・標語コンテストの開催（景品、表彰あり）
②交通事故を未然に防ぐ環境を整備しよう！	（具体的な取組） ・地域ぐるみで危険箇所の調査及び除去（対策を行政に提案） ・路面着色などによる歩道・車道空間整備の要望 など ・道路にはみ出た見通しを悪くしている草木をなくす
③子どもの登下校の見守りを行おう！	（具体的な取組） ・ウォーキングや犬の散歩時の見守り（再掲） ・地域の団体等による子どもの見守り など

【支えあうまちづくり】

住民同士のつながりを深め、お互いを支えあえる地域を目指しましょう！

（１）地域を支える人材づくり

（課 題）地域の活動を支える人材が減少している。

（方向性）地域住民が持つ知識・技能を活かし活躍する人材の発掘及び人材の育成

（取組）

①知識・技能を持った人材を発掘しよう！	（具体的な取組） ・知識や技能を持った住民の把握 ・各種養成講座等を受講した人材のデータベース化の検討 など ・地区ごとにおやじの会を作り、コミュニケーションを図る ・求める知識、技能リストの明示 ・若林スペシャリスト名鑑の作成
②必要な知識・技能の向上を図る機会を提供しよう！	（具体的な取組） ・各種講座や勉強会、スキルアップ研修等の開催 ・各種養成講座等の情報発信 など ・回覧、SNS 両方を使った若林地区の講座、勉強会のスケジュール一覧を発信 ・他地域の取り組みを調べる、視察する、マネする ・YouTube 等での発信 ・研修費用補助制度 ・若林スペシャリスト名鑑筆頭に地域団体の横のつながりをつ

	くれるイベント開催 ・地域に必要な知識の洗い出し ・補助金制度の作成 ・スキルアップ講座の明確化
③子どものころから地域の取組に参加しよう！	(具体的な取組) ・地域の行事やイベント等の企画段階での子どもの参画 など ・こども会活動への援助 ・こどもの企画をサポートするファシリテーターの配置 ・こどもマルシェ開催

(2) 地域を支える仕組みづくり

(課 題) 地域住民がお互いに支えあえる仕組みづくりが求められている。

(方向性) 個人や団体など、地域住民同士が支えあえる体制を整える

(取組)

①気軽に相談できる体制をつくろう！	(具体的な取組) ・自治区等での困りごと相談体制の充実 ・福祉の相談窓口（高岡支所）の住民周知 など
②地域住民が積極的に参画したくなる仕組みをつくろう！	(具体的な取組) ・住民が持つ知識や技能が生かせる仕組みづくり など ・持っている技能や趣味などを気楽に発表したり体験できる場を作る ・入退会が自由に感じられるチーム作り ・地域の運動会の開催 ・人材のデータベースの検討
③地域の活動団体が活躍できる仕組みをつくろう！	(具体的な取組) ・団体の活動を通じた支え合い支援 ・地域の課題解決に向けた団体同士の協力体制づくり ・活動の一日体験など団体外の人に知ってもらえる日を作る ・各団体の不要な活動を減らし気軽に参加できるようにする ・活動団体への勧誘 ・給与面、勤怠面を含めて問題点の調査

（３）地域住民の絆づくり

（課 題）お互いが支えあえる環境とするためには住民同士の繋がりが必要。

（方向性）地域住民同士が気軽に話しふれあえるまちにする

（取組）

①地域住民がふれあう機会を充実・創出しよう！	（具体的な取組） ・ 地域のお祭り等の活性化 ・ 子どもをメインにその家族も参加するイベントの開催 など ・ 環境美化活動にこどもと一緒に参加する ・ 地区対抗スポーツ大会 ・ 若林地区大運動会の実施
②多世代が交流できる機会を充実・創出しよう！	（具体的な取組） ・ 親子で参加するイベントの開催 ・ 高齢者と子どものふれあいの場づくり など ・ コミュニティー単位の発表会の実施
③地域の活動団体同士のつながりをつくろう！	（具体的な取組） ・ 団体同士の交流・情報交換の場づくり ・ 団体の活動・イベント等の情報発信、SNS の活用 など ・ 防災を加味した BBQ の開催

【ポイント２】元気に暮らせるまち！

【活気あふれるまちづくり】

住民同士のつながりを深め、助け合える環境がり、まちを盛り上げるために地域住民一丸となって取り組む地域を目指しましょう！

（１）地域イベント等のさらなる充実

（課 題）地域のイベントが恒常化している、地域内外にあまり認知されていない。

（方向性）既存のイベント等の手法・内容を見直し活性化させる

（取組）

① イベントの担い手として参加しやすい仕組みをつくらう！	（具体的な取組） ・ 担い手の楽しさの情報発信 ・ 親子で参画できるイベント内容等の見直し など ・ 一部の人への負担を軽減し、広く浅く参加してもらう ・ 単発参加を可能とするチーム作り ・ こどもが主役になる環境整備
② 他の活動団体と連携したイベントの実施	（具体的な取組） ・ 団体にメリットのあるイベントへ内容の見直し ・ 団体と団体がコラボしたイベントの実施 など ・ 夏祭りが楽しみになるような企画 ・ イベントの中に PR、交流タイムの作成
③ 効果的なイベント情報等の発信	（具体的な取組） ・ SNS を活用した効果的な情報発信 ・ 地域外での積極的な PR 活動 など ・ 若林 PR 大使の任命

（２）新たなイベント等の創出

（課 題）地域住民が参加しやすいイベントが少ない。

（方向性）地域住民のつながりを深める新たなふれあいの場を創出する

（取組）

① 誰もが参加したくなるイベントの創出	（具体的な取組） ・ 子どもや若い人達が企画したイベントの開催 など ・ 新企画を考えるチームの形成
② 地域住民の意見を反映したイベントの創出	（具体的な取組） ・ 住民アンケートの実施、アンケート結果を踏まえたイベントの企画・開催 など ・ QR コードで地域の声を吸い上げる仕組みづくり ・ 簡単なアンケートで多くの情報を取る
③ 若林地域ならではのイベントの創出	（具体的な取組） ・ 若林神輿や高美町桜並木を活用したイベントの開催 など ・ 大人神輿を広める、子ども神輿も地域で実施

（３）地域活動団体の活性化・新たな活動団体の創出

（課 題）地域で活動する団体があまり知られていない。また、地域を盛り上げるための新規活動団体の創出が必要。

（方向性）活動団体が連携し地域を盛り上げる体制を整える。多くの団体が活動する地域にする

（取組）

①活動団体同士のネットワークづくり	（具体的な取組） ・団体の活動発表の場づくり ・団体同士の交流・情報交換の場づくり（再掲） など ・リモートで参加できるようにする ・イベント時にグループライン作成&終了時に納会
②活動団体への支援	（具体的な取組） ・自治区等の活動支援 ・団体の活動内容等の積極的な情報発信 ・市や民間が行う補助制度等の情報発信 など

【子ども、高齢者、障がい者に優しいまちづくり】

地域住民がお互いに助け合い、支え合える地域を目指します！

（１）子育て支援の充実

（課 題）事件・事故の危険に遭いやすい環境、子どもと地域の大人の関わりが希薄になっている。

（方向性）子どもたちが健やかに成長でき、地域に愛着を持ってもらう

（取組）

①地域住民みんなで見守り支援	（具体的な取組） ・ウォーキングや犬の散歩時の見守り（再掲） ・地域の団体等による子どもの見守り（再掲） など
②地域が教える子どもたちの学び支援	（具体的な取組） ・高齢者が子ども達に教える学びの場づくり など ・地域の団体等による子どもの学び支援 ・老人ホームを開放し、子どもたちとの交流の場を創出

	・ こども園と高齢者クラブとの連携 ・ こどもを中心に置いたキャリア教育支援 ・ こどもたちにも先生になってもらう ・ 学校と協力し、出前授業の開催
③ 支援が必要な子どもたちを地域で支える仕組みづくり	（具体的な取組） ・ 学習支援や食事支援など子どもの居場所づくり など ・ 場所を提供してくれる人を募る（企業支援も交えて）

（２）高齢者支援・生きがいの場の充実

（課 題）高齢化に伴う日常生活への影響、引きこもり

（方向性）生活に必要な支援の充実、健康維持、生きがいを見いだせる場を充実・拡充する

（取組）

① 地域で支える困りごと支援、外出時の移動手段の確保	（具体的な取組） ・ 地域の団体（お助け隊等）による困りごと支援 ・ ライドシェアリングの推進（再掲） ・ 地域バス・地域タクシー等の導入検討（再掲） など
② 元気な身体を維持する健康づくり	（具体的な取組） ・ 健康づくり教室の実施 ・ 子ども達と一緒にラジオ体操の推進 など
③ 交流の場の充実、高齢者が活躍できる場の創出	（具体的な取組） ・ 地域のふれあいサロンの充実・拡充 ・ 高齢者が子ども達に教える学びの場づくり など

（３）障がい者支援の充実

（課 題）障がいについてあまり知られていない

（方向性）障がいがあるなしにかかわらず地域住民が障がいを理解し支え合う地域にする

（取組）

① 障がいについての認識と理解を深める	（具体的な取組） ・ 障害者週間（12/3～9）での啓発活動の実施 ・ 学校等での障がい者理解の学習 など
---------------------	---

	・福祉施設と共働でオープンイベントの開催
②バリアフリーを踏まえた地域活動の推進	（具体的な取組） ・障がい等の視点にたった防災計画・イベント等の実施 など ・バリアフリー総点検 ・歩道整備 ・多様な方の参加によるまちづくり ・防災訓練で支援が必要な住民への対応検討
③心のバリアフリー	（具体的な取組） ・小中学校等での障がい者理解の学習 ・障がい者理解の勉強会等の開催 など ・視覚的にわかりやすい障がいだけでなく、自閉症などの個々に対応しなければならない場合もあることを知ってもらう ・障がい者施設のイベント参加（イベント周知） ・不自由を体験する

【ポイント3】みんなが暮らしたくなるまち！

【魅力的なまちづくり】

地域資源を活用した特徴的な取組など、魅力ある地域を目指します。

（１）移動拠点へのアクセス環境の充実

（課 題）名鉄三河線連続立体交差や都市計画道路の整備が進められているが、拠点となる駅等へのアクセス環境が充実していない

（方向性）名鉄三河線高架化、都市計画道路整備を踏まえた拠点箇所へのアクセス等を充実させる

（取組）

①拠点箇所までの移動手段の検討	（具体的な取組） ・ライドシェアリングの推進（再掲） ・地域バス・地域タクシー等の導入検討（再掲） など ・立体駐車場充実
②拠点箇所までの歩行者空	（具体的な取組）

間の充実	・歩道整備（新規・更新）の要望 など ・若林駅の送迎者用スペースの確保 ・車椅子も通しやすい歩道作り ・安全ルート整備 ・更新が必要な箇所を区民が提案する制度の作成
------	--

（２）やすらぎ・歴史・文化を感じる環境の充実

（課 題）魅力的な地域資源はあるがうまく活用できていない

（方向性）日々の生活にやすらぎがあり、身近に地域の歴史や文化を感じ、イベント等の楽しみを体感できる地域にする

（取組）

①やすらぎを感じる自然環境の充実	（具体的な取組） ・逢妻男川の環境保全活動の拡充 ・桜並木の逢妻男川沿いへの延伸検討 など ・逢妻男川に鮎を放つ ・桜並木の保護の拡充 ・保全活動への多世代での参画
②若林地域の歴史や文化を知る機会の創出	（具体的な取組） ・地域の歴史文化のとりまとめ ・ホームページ等による歴史文化の情報配信 など ・若林の歴史、文化財の展示
③歴史・文化イベント等の拡充	（具体的な取組） ・歴史文化まちあるきイベントの企画・実施 など

【世代を超えて仲良く暮らすまちづくり】

子どもから高齢者まで、誰もが暮らしやすいまちを目指します。

（１）思いやりのある人づくり

（課 題）核家族化や、世代間の交流の希薄など、コミュニケーションや相互の支えあいが少なくなっている

（方向性）家族や、各世代・世代間のつながりを深め、互いに支えあえるまちにする

(取組)

①世代間のふれあいの場の創出	(具体的な取組) ・子どもをメインにその家族も参加するイベントの開催（再掲） ・子どもや若い人達が企画したイベントの開催（再掲） など
②家族と地域について考える機会の啓発	(具体的な取組) ・家族の週間（11月の第3日曜日、その前後1週間）での啓発活動の実施 など ・親子スタンプラリーの実施 ・自治区の呼びかけ
③三世代家族間での情報共有・情報発信	(具体的な取組) ・各世代が知っている情報の共有化 ・三世代が寄りそうくらしの魅力発信 ・こんなまちにしたい絵コンテストの開催
④若林地域情報伝達網の構築	(具体的な取組) ・SNS等を活用した情報共有の仕組みづくり、 ・若林エリアメール等情報発信手法の検討 など

(2) あいさつでつながりを深める地域づくり

(課題) 「あいさつ」は住民同士のコミュニケーションを深めるとともに、防犯、防災、福祉など、共助につながるが、あいさつをする人が少なくなっている

(方向性) 気軽に当たり前のように「あいさつ」できる住民を増やす

(取組)

①あいさつ運動の促進	(具体的な取組) ・若林独自のあいさつ運動の実施 ・のぼり旗や横断幕等によるあいさつ啓発活動 など ・こどもを中心に若林独自のあいさつ言葉を作る ・各団体が順番にあいさつ運動をする ・ありがとうのぼり旗を立てる
②声かけでコミュニケーション	(具体的な取組)

ヨンのきっかけづくり	・子どもの見守り時の積極的な声かけ運動 など
③地域と学校が共同したあいさつ運動	(具体的な取組) ・学校と地域が連携した「あいさつ運動」の実施 ・あいさつ標語コンクールの実施 など